

第3章
志木市のスポーツ推進の
現状と課題



第3章 志木市のスポーツ推進の現状と課題

1 志木市のスポーツ推進の現状

本計画の策定にあたり、令和4年6月に市民1,054人を対象にアンケート調査を行い、その結果から、本市のスポーツ推進の現状を抽出しました。

(1) スポーツの実施状況について

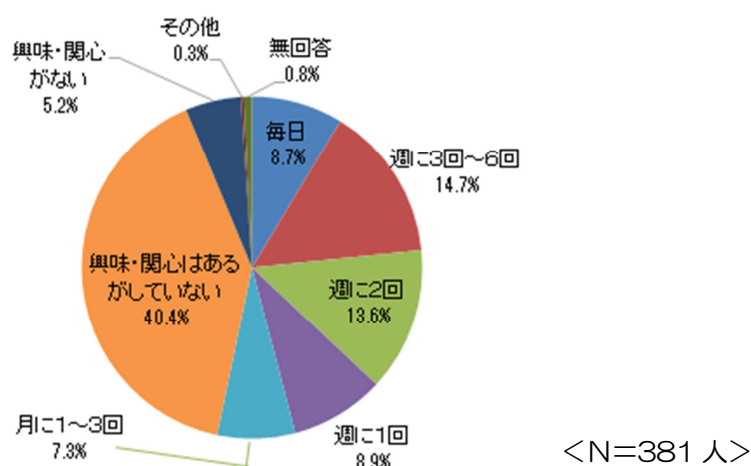
週1回以上スポーツを行っている16歳以上の人の割合は45.9%で、前回調査（平成29年度）の60.1%を下回り、定期的にスポーツを行う人の割合は、5年間で14.2ポイント低くなっています。

20歳以上に限定すると、実施率は45.8%であり、前回調査の60.2%を14.4ポイント下回っています。

これを年齢別で見ますと、50歳以上の年代では54%の人が実施している反面、20歳以上49歳以下の年代の実施率は35.1%と、年代により差が出ています。

全体的に実施率が大幅に低下しているのは、コロナ禍が影響しているものと推測されます。

◆スポーツの実施状況（1つ選択）

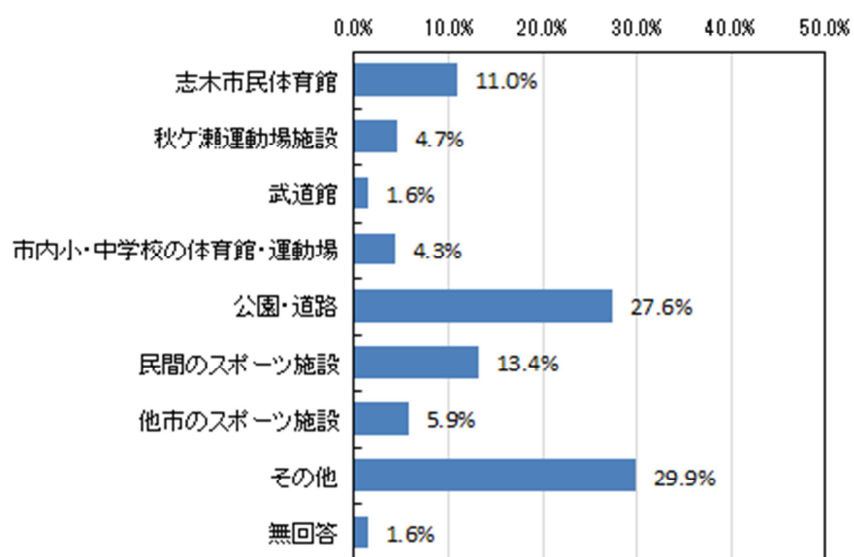


(2) スポーツを定期的に（週1回以上）行っている人について

○ スポーツの実施場所

「公園・道路」と回答した人の割合が27.6%と最も多い結果となりました。

◆週1回以上運動する方が、どんな場所で運動をしているのか。（複数回答可）



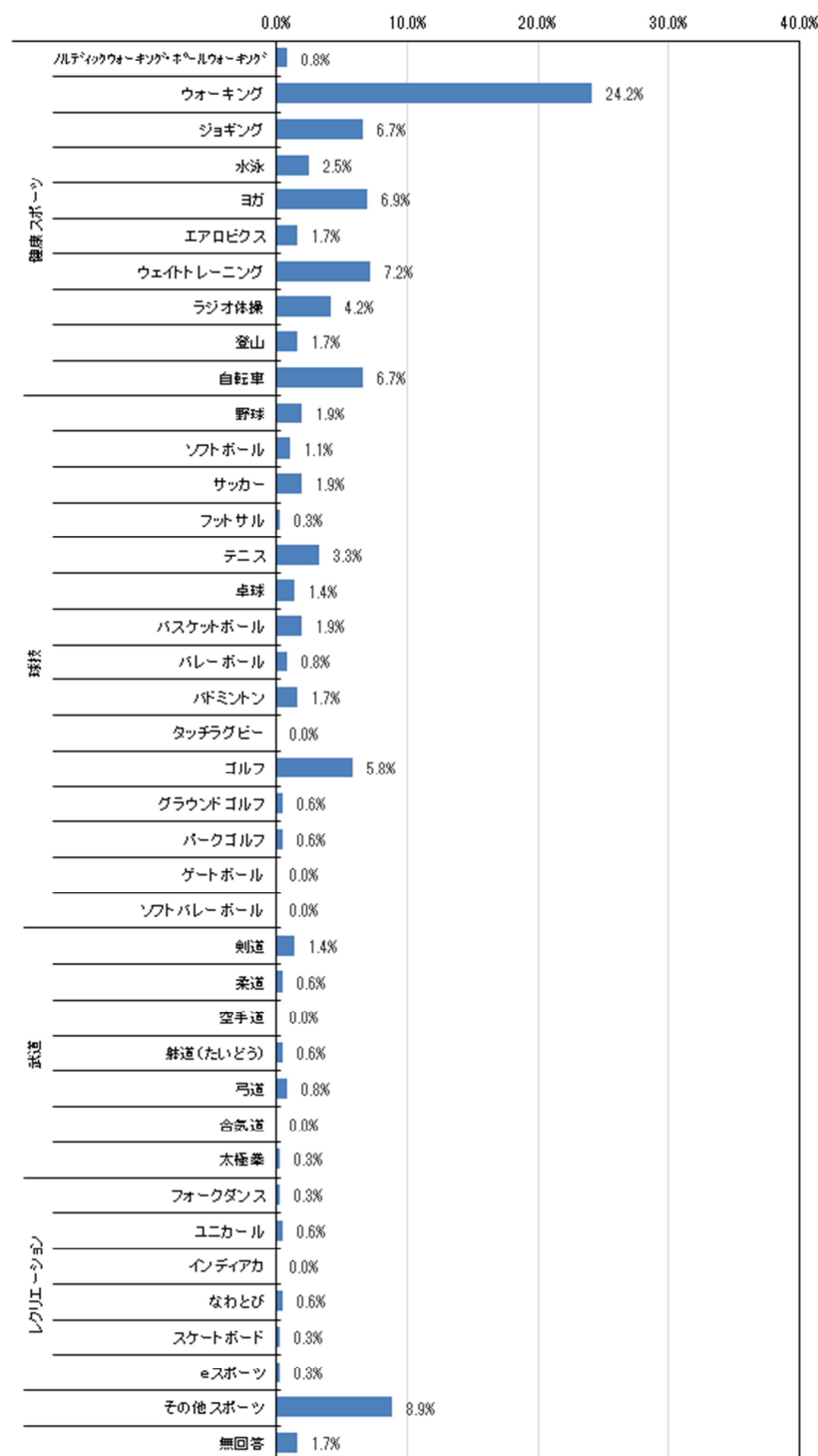
<N=175人>



○ スポーツの種類

「ウォーキング」と回答した人の割合が最も多く、24.2%を占めています。続いて、「ウェイトトレーニング」、「ヨガ^(注)」、「ジョギング」、「自転車」などの、個人や少人数でできるスポーツを行っている人が多い結果となりました。

◆週1回以上運動する方が、どんなスポーツを行っているのか。(複数回答可)



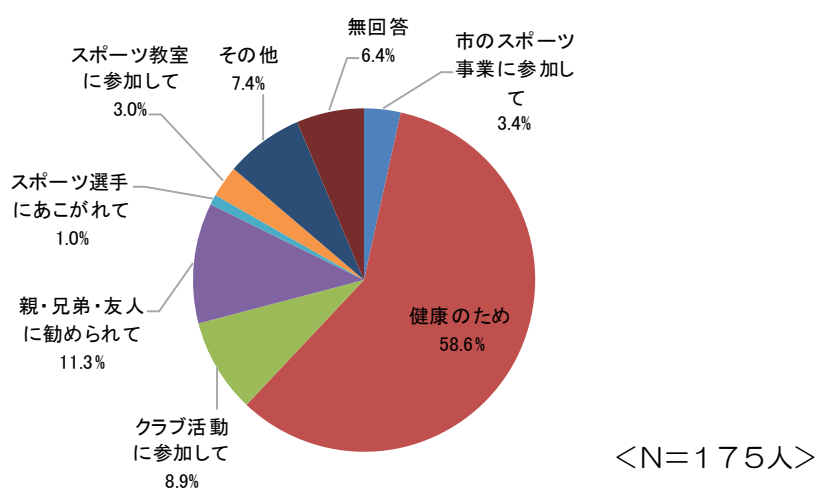
<N=175人>

○ スポーツを始めたいきっかけ・続けている理由

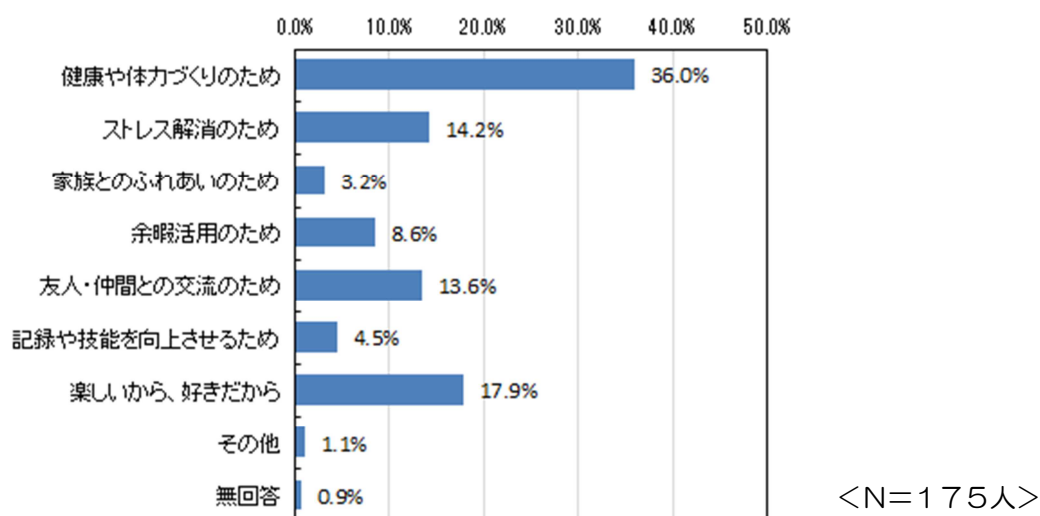
スポーツを始めたいきっかけについては、平成 29 年度の調査と同様に「健康のため」が圧倒的に多く、全体の 58.6% となっています。また、続けている理由については、「健康や体力づくりのため」が 36.0% を占め、最も多くなっています。

このことから、スポーツを行う動機として、健康や体力づくりを意識していることが分かります。

◆ 週 1 回以上運動する方が、スポーツを始めたいきっかけは。(1つ選択)



◆ 週 1 回以上運動する方が、スポーツを続けている理由は。(複数回答可)



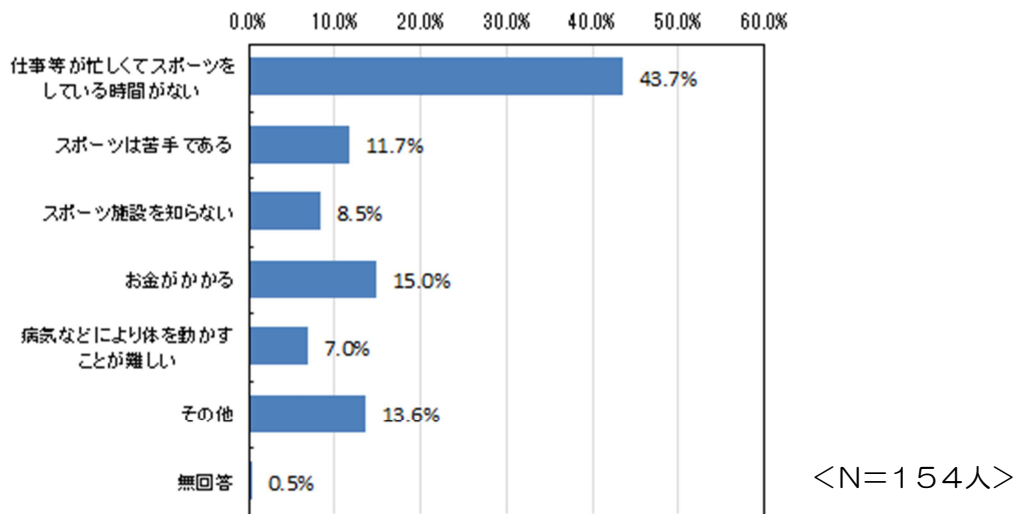


(3) スポーツを定期的に(週1回以上)行っていない人について

○スポーツを定期的にできない理由

スポーツを定期的にできない理由として「仕事等が忙しくてスポーツをしている時間がない」が43.7%を占めており、スポーツ活動の時間の確保が難しい現状がうかがえます。しかし、「スポーツ等に興味・関心はあるがしていない人」と回答した人が40.4%いることから、現在スポーツを行っていない人でも、スポーツに対して興味や関心を持っている人が多くいることがわかります。

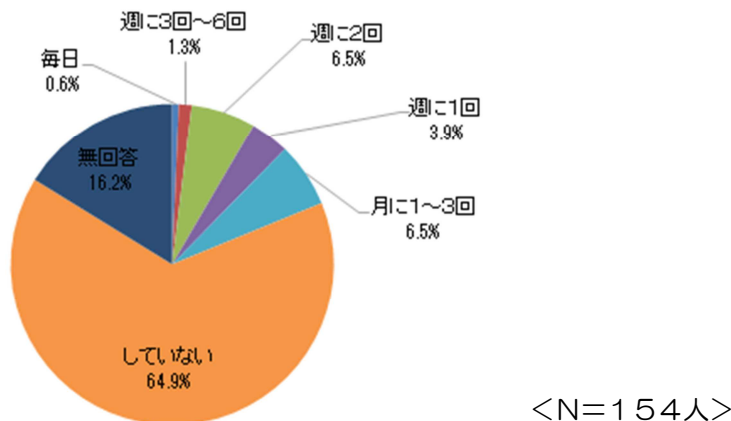
◆スポーツを定期的にできない理由は。(複数回答可)



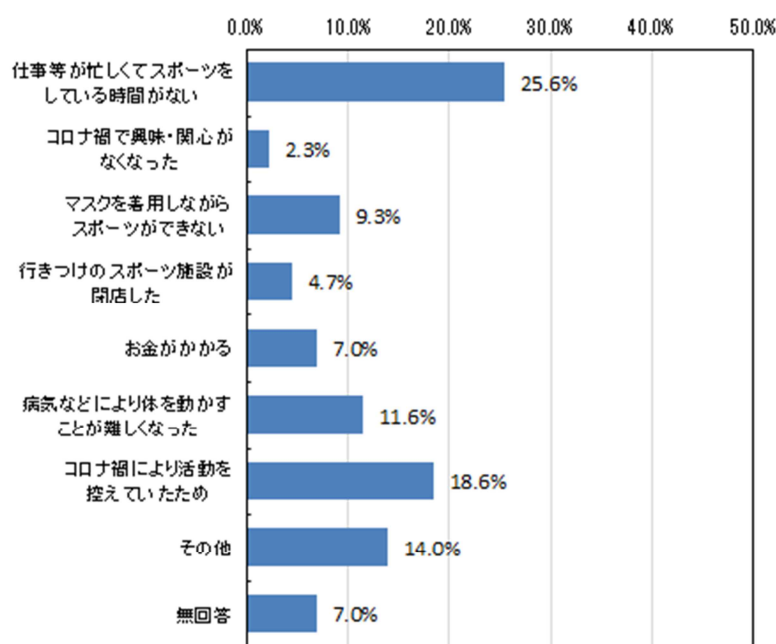
○コロナ禍との関係

新型コロナウイルス感染症が流行する前に運動をしていた人が18.8%おり、コロナ禍以降、運動をしなくなった理由で最も多かったのが、「仕事等が忙しくてスポーツをしている時間がない」が25.6%、続いて「コロナ禍により活動を控えたため」が18.6%となっています。

◆コロナ禍になる前は週または月にどのくらいスポーツを行っていたか。(1つに○)



◆コロナ禍以降にスポーツを行わなくなった理由は。（複数回答可）

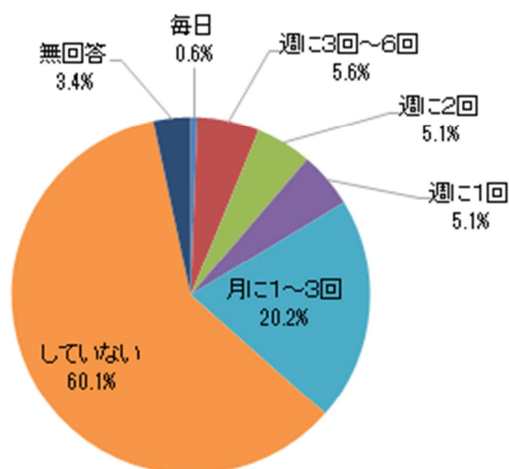


<N=43人>

（４）スポーツ観戦について

スポーツ観戦をしている人は、36.5%に止まり、コロナ禍以前と比較してスポーツ観戦をする時間が増えたという人は、6.7%で、その理由は、「コロナ禍で自宅にいることが多くなった」や、「オリンピック・パラリンピックでスポーツに興味・関心を持つようになった」などとなっています。

◆あなたは、どれくらいの頻度でスポーツ観戦をしていますか。（1つに○）



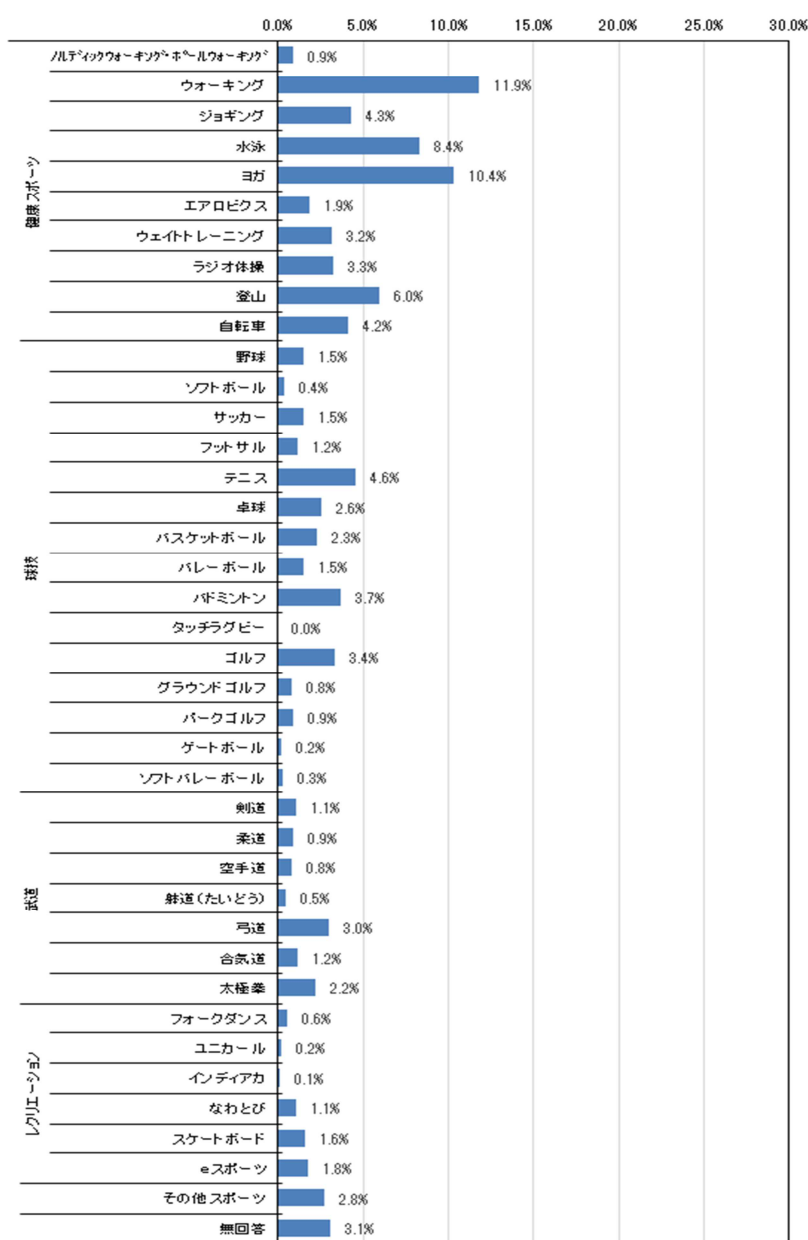
<N=178人>



(5) 今後やってみたいスポーツについて

「ウォーキング」が11.9%と最も多く、続いて「ヨガ」、「水泳」の順となっており、この上位3種目については、平成29年度の調査と同様の結果となっております。現在行っているスポーツの設問でもウォーキングが最も多かったことを勘案すると、ウォーキングは、現在も将来も市民が行いたいスポーツであると考えられます。また、「登山」、「テニス」、「ジョギング」など、個人や少人数で行う競技も市民の注目の高いスポーツであるといえます。さらには、その他のスポーツでは、近年注目を集めている「BMX」などアーバンスポーツの回答も見受けられました。

◆今後やってみたいスポーツは。(複数回答可)

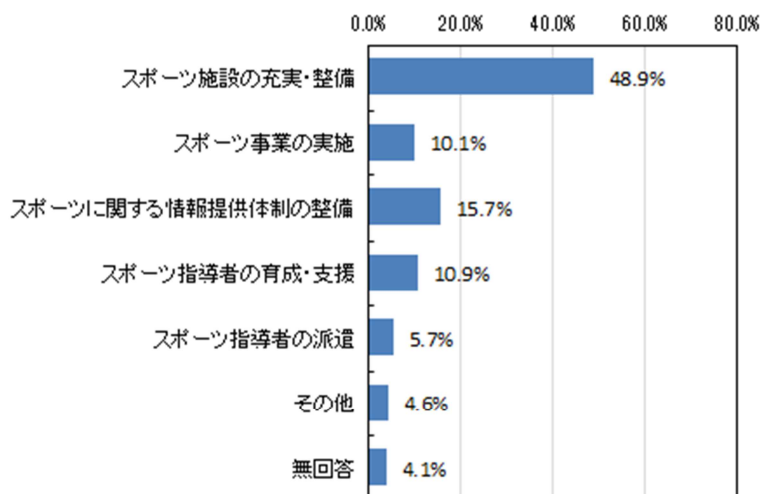


<N=381人>

(6) 志木市のスポーツ施策への要望について

「スポーツ施設の充実・整備」が48.9%と最も高くなっています。また、「スポーツに関する情報提供体制の整備」を望む人も15.7%います。

◆志木市のスポーツ施策に何を望みますか。(複数回答可)

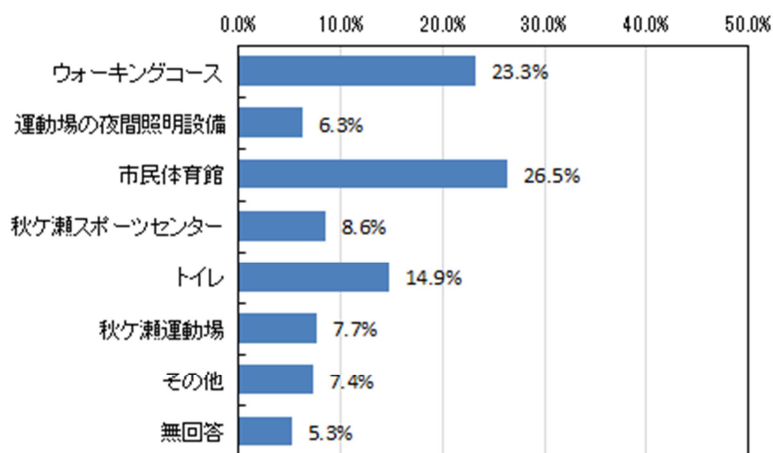


<N=381人>

(7) 志木市内の公共のスポーツ施設の整備について

「市民体育館」が26.5%、続いて、「ウォーキングコース」が23.3%となっています。また、「トイレ」についても、14.9%の人が充実を望んでいます。

◆志木市内のスポーツ施設のうち、どの施設の充実を望みますか。(複数回答可)



<N=381人>

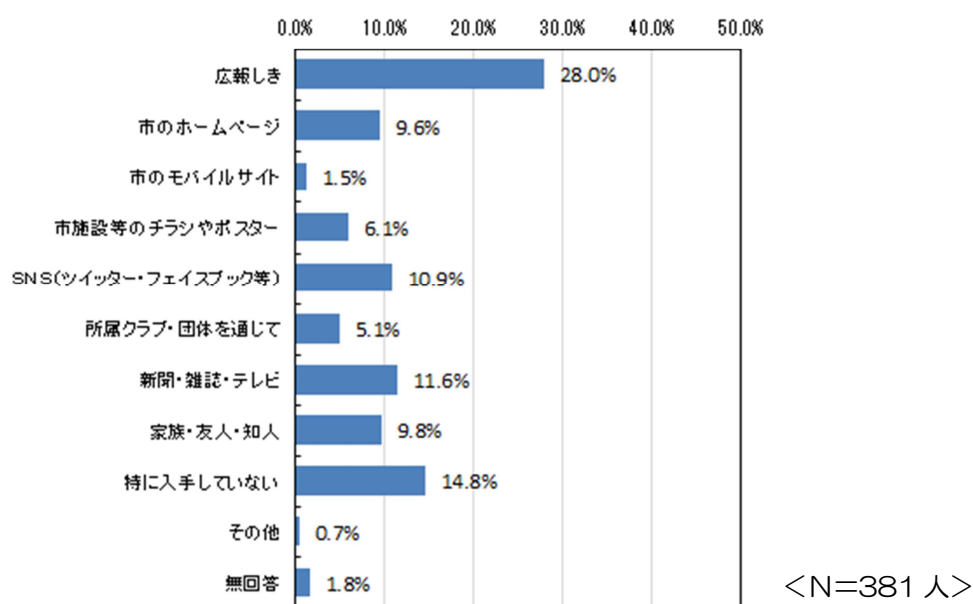


(8) 志木市のスポーツに関する情報について

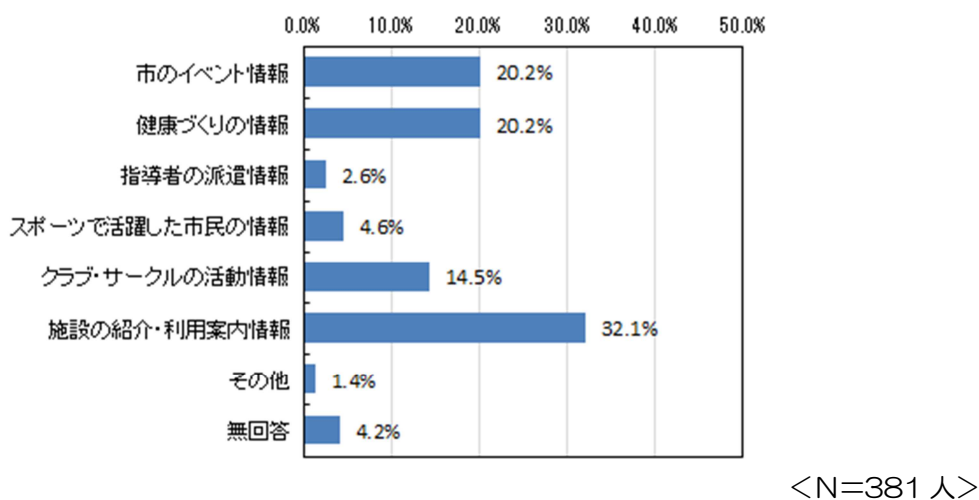
情報の入手方法については、「広報しき」が28.0%と最も多い一方、「特に入手していない」人が14.8%もいる結果となりました。

また、知りたい情報については、「施設の紹介・利用案内情報」が32.1%、続いて「市のイベント情報」「健康づくりの情報」が20.2%となっています。

◆スポーツに関する情報を何によって入手していますか。(複数回答可)



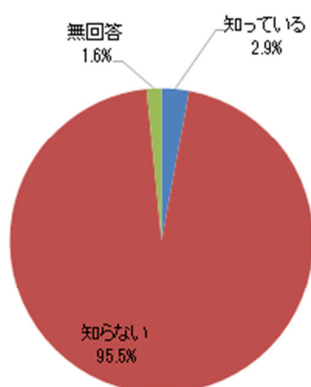
◆スポーツに関するどのような情報を知りたいですか。(複数回答可)



(9) 志木市のスポーツ施策の認知度について

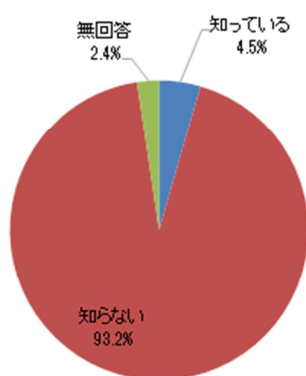
「志木市民スポーツに親しむ日^(注)」や、「チャレンジスポーツ^(注)」については、9割以上の方が知らないと回答しています。また、「チャレンジスポーツに参加したいと思うか」については、54.8%が参加したい、または、機会があれば参加したいと回答しており、情報提供や周知が十分に足りていないことを示しています。

◆ 6月第1日曜日が「志木市民スポーツに親しむ日」であることを知っていますか。(1つに○)



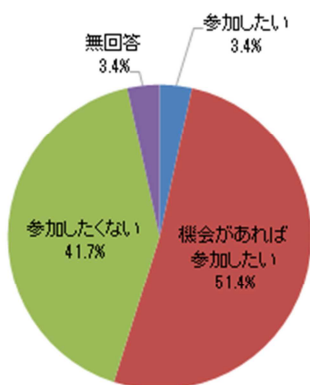
<N=381人>

◆ 志木市の事業で、「チャレンジスポーツ」を行っていることを知っていますか。(1つに○)



<N=381人>

◆ 「チャレンジスポーツ」に参加したいと思いますか。(1つに○)



<N=381人>



2 志木市のスポーツ施設の現状

志木市で管理しているスポーツ施設については、学校体育施設と夜間照明施設を除き、設置後42年から52年が経過しており、設備の老朽化等の対策として、改修工事を随時行っています。

(1) 公共のスポーツ施設

施設名	所在地	設置年
市民体育館	館2-2-5	昭和55年
武道館	柏町3-6-19	昭和45年
秋ヶ瀬運動場施設		
秋ヶ瀬スポーツセンター	上宗岡4-25-46	昭和56年
秋ヶ瀬総合運動場	大字宗岡字野垂5600	昭和56年
秋ヶ瀬運動公園	大字宗岡字丸野地先	昭和46年

(2) 学校開放施設

施設名	所在地	開放施設
志木小学校	本町1-10-1	体育館・校庭
志木第二小学校	館1-2-1	
志木第三小学校	柏町3-2-1	
志木第四小学校	館1-4-1	
宗岡小学校	中宗岡3-1-1	
宗岡第二小学校	上宗岡3-13-1	
宗岡第三小学校	下宗岡1-15-30	
宗岡第四小学校	上宗岡1-1-2	
志木中学校	柏町3-2-2	体育館
志木第二中学校	館1-3-1	体育館・若駒館(武道場)
宗岡中学校	上宗岡1-8-1	体育館
宗岡第二中学校	下宗岡4-1-10	体育館

(3) 夜間照明施設

施設名	所在地	開放施設
宗岡第四小学校	上宗岡1-1-2	校庭
宗岡中学校	上宗岡1-8-1	校庭・テニスコート

3 現状から見た課題

① 年代や性別、環境にかかわらず、市民の誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しみ、喜びを得られるような環境づくり

週1回以上のスポーツ実施率は、新型コロナウイルス感染症の影響も受け低下し、かつ、スポーツに興味・関心はあるがしていない人が多い状況にあります。それぞれの年代やライフスタイルにあわせて、誰もが気軽にスポーツ活動を始められる機会・環境を作ることが必要です。

② スポーツ情報の発信強化

市のスポーツ施策「チャレンジスポーツ」を知らない人が9割に上りますが、その半数以上は、「参加したい」、「機会があれば参加したい」と回答していることから、スポーツに関する情報発信や周知方法の検討を進めていく必要があります。

市民に情報が届くよう、時代の変化に合わせ、必要な時にすぐにスポーツに関する情報にアクセスできる環境をつくる必要があります。

③ 楽しくスポーツを行うための環境整備

ウォーキングやジョギングといった身近な運動を行っている人が多く、その理由として、健康づくりや体力づくりを目的として行っている市民が多い状況にあります。また、公園や道路などを利用し、個人や少人数でできる種目を行っている人が多いことから、誰もが気軽にスポーツを続けられるように、環境の維持や施設の整備を行う必要があります。

さらに、公共のスポーツ施設の整備を望む声も多くあり、市民が快適にスポーツを行えるよう環境を整備し、利用促進を図る必要があります。

④ 新しいスポーツへの参画など、スポーツ機会の創出

スポーツも時代とともに進化が求められており、従来の伝統的なスポーツに加え、音楽・ファッション等、遊び感覚の高い若者文化要素を取り入れたアーバンスポーツなどが、特に若い世代を中心に親しまれています。このような新しいスポーツを楽しむ機会を創出することで市民のスポーツ実施率の向上を図ります。